

2020 年度実施概要

教育委員会名

阪南市教育委員会

採択活動名

地域に根ざした海洋教育

取り組みの概要

海洋教育パイオニアスクールプログラム地域展開部門での活動2年目として、以下の取り組みを実施した。

○海洋教育推進協議会及び企画運営部会の実施状況

・第1回協議会 7月6日(月)

会長・副会長等を選出するとともに、昨年度の事業報告及び決算報告を行った。また、今年度の事業計画案、予算案についての協議を行った。

・第2回協議会 11月26日(木)

2021年度の「海洋教育パイオニアスクールプログラム」の申請内容について事務局から示し、協議会委員からの助言をいただいた。

また、各校の担当者等との企画運営部会を5回開催し、各校の取組状況の共有及び研修会や実践報告会に向けての協議を行った。

○教育課程特例校について

令和2年度より、阪南市立西鳥取小学校を教育課程特例校とし、取組を進めている。これまで学年単位で行っていた海に関わる活動を、全学年を通じて系統立てた取組とするため、「海洋教育科」を新設した。

低学年から海に親しみ、海で楽しむことをきっかけに、中学年で地域の海について知り、その豊かな環境を守る活動を地域の方々と共に行い、高学年では地域の海と海に関わる仕事や人々の生き方を学ぶというように、海に関わるそれぞれの取組を学校の教育活動の中心に据え、海洋教育を通して探究的な学習を行っている。

○海洋教育研修会の開催

8月18日(火)には、海洋教育研修会を実施し、市内の幼稚園、小・中学校の教職員32名が参加した。午前中には、NPO海辺づくり研究会理事 木村 尚 氏、NPO法人大阪湾沿岸域環境創造研究センター専務理事 岩井 克巳 氏から海洋教育に取り組む意義や大阪湾の現状等についての講演を行っていただいた。午後からは、阪南市の海を研修会場とし、実際に教職員が海に入っの安全講習や地曳網体験、生きもの観察等の実技講習を行った。

○外部機関との連携

海洋教育を実施する各校において、NPO法人大阪湾沿岸域環境創造研究センターや市内の漁港、近隣の水産試験場と連携を図り、活動を行っている。また、男里川環境保全委員会、貝塚市立自然遊学館、きしわだ自然資料館など、地域の沿岸環境保全や環境学習に取り組んでいる団体や博物館からも活動に対して協力をいただいている。

○海洋教育実践交流会の開催

昨年度は実施校の児童が一堂に会し、実践交流を行ったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、集合型ではなく、各校の取組をポスターにし、他校へ紹介をする形式による交流を行った。実施校の児童は、他校のポスターを見た感想を感想文にまとめ、そのポスターを書いた学校に感想文を相互に送り合うことで交流を深めるとともに、自校の実践をさらに深めていくための参考とすることができた。

実施校が作成したポスターについては、次年度から参加する小学校や市役所等に掲示することで、実施校の取組を広く発信していくことを計画している。

○その他教育委員会としての取組

- ・ 6月20日（土）には、セブン-イレブン記念財団と阪南市との協働プロジェクト「阪南セブンの海の森活動」に市教育委員会担当者及び海洋教育実施校担当者が参加し、海岸清掃やアマモ花枝採取、生き物観察・調査を行った。
- ・ 11月8日（日）には、グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン全国大会が Zoom により開催され、その中のアマモ交流会において、市及び各校の取組について、教育委員会担当者と実施校の子どもたちが発表を行った。使用した動画については、市のホームページで公開している。
- ・ 2月17日（水）には、第15回海の再生全国会議 in 神戸に市教育委員会担当者が参加し、市の海洋教育の取組について、広く発信した。
- ・ 市の広報誌「広報はんなん 11月号」に「海洋教育パイオニアスクールプログラム」を活用しての学校及び市の活動を紹介する特設ページを設け、広く市民に取組の発信を行った。

活動参加校名

1. 阪南市立尾崎小学校
2. 阪南市立西鳥取小学校
3. 阪南市立下荘小学校
4. 阪南市立舞小学校